



## Introduction

All Sapporo Professional Actors Selectionとは、北海道の内外で活躍するプロフェッショナルな俳優を作品ごとに選抜し、これまで札幌ではなかなか実現のできなかった、エンターテイメント性があり、芸術劇価値も高い演劇作品を創造し道民・市民にお届けする、札幌の演劇の新しい挑戦です。道外・海外から北海道を訪れた観光客の皆さんにも、札幌の地場演劇を北海道観光のオプションの一つとして提案するアートツーリズムの試みでもあります。劇団やユニットの枠を超えて、道内・道外からも俳優や専門スタッフを札幌に招き、札幌文化芸術劇場 hitaruの協力も得て、札幌市民交流プラザ・クリエイティブスタジオで公演します。TGR札幌劇場祭や、札幌演劇シーズンなどを通じて活況を呈している札幌の地場演劇を支え続けるプロフェッショナルな俳優たちが、大人の観客の皆さんを満足させる舞台芸術をお届けします。シリーズ第一作は、精神療養病棟を舞台にした映画「カッコウの巣の上で」に着想を得て、人間の尊厳を問うオリジナルドラマをイレブンナインの納谷真大が書き下ろします。ロボトミー手術が実際に行われていた1970年代前半の札幌を舞台に、冬季オリンピック開催直前の急速な開発と、新たな社会システムが構築されようとしている街の狭間で、そこに収まりきらない人間たち、命を賭して自由を渴望する姿を、札幌座の斎藤歩を主演に迎え、豪華キャストとギタリスト・山木将平の生演奏で描きます。

「ここは俺やアンタがいるべき場所じゃない  
「そう思わねえか？：：なあ：：一緒に行かねえか？」



## All Sapporo Professional Actors Selection vol.1

どう こく

# 虹と雪、慟哭のカッコウ ～SAPPORO '72～

1971年5月。札幌のシンボルである鳥「カッコウ」の初鳴きが聞かれ、翌年開催される冬季オリンピックを控えた街は様変わりしていた。刑務所での懲役を免れるために精神病を装い入所してきた金子タケシは、療養所の非人間的なルールに悉く反抗する。アイヌ民族の貝沢チカラら様々な患者たちは当初、森川婦長らの制裁「脳みそをちぎる手術」を恐れていたが、金子と時間を過ごすうちに、彼の行動に共感し始め…。オリンピックで街は生まれ変わろうとしている。人間は生まれ変われるのか…人間の尊厳とは?